

【ねがいましては】

平成16年6月28日

第167号

KYOWA SCHOOL

「第二の我が家」

『それよりも今日は父の日っ！オメデトウございます””8(∇^8)(8^∇^8)””先生は第二のパパさんだから(笑)。もうちょっとばかし年とったとしても、アタシのリハビリなんぞ受けないようにずうっと長生きしてくださいね(笑)。』

前回のホームシックで元気のなかった子からのメールの一文です。

父の日のお祝いメールは生まれて初めてです。実際父でもないものにいただけるのですから嬉しいの一言です。

『安心』が作り出す思いやり、そして優しさ。Jちゃんの気持も温かさを取り戻しつつあるようです。

ホームシックから受け取った様々なもの、ひと回り成長したことと思います。

心を温かく健康にすること。先ずどのようなことでも、『事の始めは心が健康。』この基本ルールが今、子供たちの中ではどの程度出来ているのか……。物は豊かになっても益々悪化の一途をたどっているようです。

『ここへ来ると安心する。』こんな気持を全員に持っていただきたいと思いがらの毎日です。なかなか全員とまでは行きませんが……。

『勉強』という2文字から浮かび上がる子供たちの持つイメージは、「希望」でしょうか、それとも「失望」でしょうか。私は90%以上の子供たちが、「失望」を選択すると思っています。それ以上かもしれません。

ここにやってくる子達の心の中を、なんとかして前向きにしたい。どんどん次を学びたい、やってみたい。本来勉強とは、机に向かうものというイメージが強いわけですが、もっともっと体を動かして「やったー！」だとか、自然の中で「命」の勉強をしたり、「命」から思いやりや優しさを育んだり……。

昨年も、また一昨年も、キャンプ場で次のような言葉が行き交います。「ここで勉強できたらどんなにいいだろうね。」「そうだねー！みんなきっとすごい一生懸命にやるんだろうね。」

なぜそう言っているのか……。小鳥のさえずる声……。湖からわずかに聞こえてくる波の音……。耳にさわる涼しい風……。胸いっぱい広がるおいしい空気……。そして、そして……。周りにいる皆の顔が、みんなみーんな、やさしさに溢れている……。心に何の不安もない……。

もう一度この3行をお読みください。そして目を閉じてください。

こころが落ち着いて、心がきれいになって、心に明るさが灯ったとき……。

「何で勉強するの……。」子供からの質問。

「一人でも多くの『人』をね、助けてあげるためだよ。」わたしはいつでもこう言いたいのです。助けるっていろいろあります。いろいろです。でもその中で一番大きな、最高の助けるって……。隣りの人の心に『灯り』がポツと灯ったときではないでしょうか。

つい最近のこと、中学3年生が私の『絵本』(KYOWA SCHOOL ホームページでご覧いただけます。)の中の『好き』という作品を見て、「あぶなかった。」(涙が出そう)と言っていました。次の言葉からだそうです。

そして そして この世界中の 命のすべてが
お互いに「すきだよ！」って 言えるときが……
来たらいいよね！



そうか……。たしかにそうだよな。毎日が勝ったの負けたの。毎日が友達の中傷や、あっちのグループだとか、こっちのグループだとか……。毎日が「早く勉強しなさいよ！」「ちっとも成績上がらないじゃないのよ！」

「またこんな点数とってきたの、もうお母さん外(そと)を、歩けやしないじゃないのよ。」

とたんにいつもの『気持』にさせてしまっておめんね。

さてと、もう一度さ、20行上の文、読んでみてね。小鳥のさえずる声……。です。そしてそのあと、もう一度「そして そして この世界中の……。」ピタリつながるでしょう。

さてと、ここだけは、この教室だけは、『心を温かくして歩く教室』で、あり続けるぞ。へこたれてなんかいられない、じっくり考えて、さらにじっくり考えて、まず私が心に灯りを灯さなきゃなー！

7月の予定

第一週目……全国統一模擬テスト(自分のちからを試してみよう)

7月14日(水)～16(金) 珠算・暗算検定試験 KYOWA SCHOOL

キャンプ……あと数名で定員になります。行ってよかったー！保障付き。お急ぎあれ！！

夏の予定・くりラン……別のお手紙をお渡しします。